

# ブルーベリーの3年間栽培

## <はじめに>

ブルーベリー（実）は近年、人気のある植物で、毎日のようにブルーベリーのサプリのCMを目にする。そのブルーベリーを育てる事は、現代の子どもにとっては、ある意味、小松菜やレタスよりも身近な植物であるかもしれない。そのブルーベリーに実を付けさせようとする、一般的に3年間は必要である。従って、中学校1年生から栽培をはじめ、3年生になって本格的に収穫できる長期栽培を必要とする。しかし、長期間育て続ける事で栽培の本当の大変さも学べ、その分、喜びもひとしおである。収穫の楽しみもあり、収穫した実の利用は家庭科との連携もできる良い題材と思われる。

## 1. 栽培の計画

ブルーベリーの良い点は、第一に果実が収穫し食べられること。管理が比較的楽であること。害虫等の被害も少なく、ほとんど無農薬で栽培が可能であること。秋には紅葉が楽しめたりもすることなどがあげられる。しかし、最も良い点は長期間栽培をする必要があることではないだろうか。管理をする教師から見れば非常に大変な面もあるが、生徒の成長と共にブルーベリーも大きくなり、実を結ぶ様子は、両者の成長と重なって見え、教師にとって楽しみでもある。

具体的な栽培の計画は次のように非常にシンプルである。要するに毎年、鉢替えを行う事がメインである。

1年生・・・挿し木1年生の苗を購入。

5号深型スリット鉢に植替え（5月）

2年生・・・7号スリット鉢に植替え（5月）

3年生・・・10号スリット鉢に植替え（5月）



（今年の5月から半年たった1年生の鉢）

## 2. 管理

ブルーベリーは水切れと加湿に弱い木なので、水はけを良くすると同時に、欠かさず水をやる必要がある。そこで大変になるのが、休日、特に長期休業中の水やりである。基本的には「自分の鉢には自分で水をやり、管理すること」とはしているが、生徒にそう言っているだけで、結局は教師が毎日鉢の状態を見ながら水をやっているのが現状である。（2010年の夏の記録的な猛暑と、お盆休み期間は特に大変であった。）

しかし、来年度は改善予定である。それは、栽培を始めて3年目が来るので、3年生のブルーベリーが本格的に収穫できる見通しだからである。教師が毎日行く事には変わらないが、夏休み中は当番を決め、水遣りと収穫をきっちりとやらせ切ろうと思っている。収穫した実は冷凍庫で保存しておき、2学期に家庭科にお願いして調理してもらおう予定である。

あとは、1ヶ月～1ヶ月半に一度、粒状の発酵油粕を追肥として施し、同時に草取りや鉢土の管理（増土など）を行っている。植え付け時に、鉢土の詰め込みが不十分だと、スリット鉢の場合、土と鉢の間にすき間が出来、水が抜けてしまい、水切れを起こして枯れてしまう。夏休みにそうして枯れてしまった生徒がクラスに1～2人、逆に詰め込み過ぎて水はけが悪く根腐れで枯れた生徒も1～2人程度いたので、植え付け時の土の詰め込み方には教師のチェックが必要であると感じた。

3年間の栽培を無事に終え、卒業する際には鉢を持ち帰り、引き続き栽培をしてもらおう。そして、数年後には、町内がブルーベリーだらけになり、ブルーベリーの町になるかも知れないと秘かに楽しみにしている。



(1年半育てた2年生の鉢)

### 3. 用土について

ブルーベリーは酸性を好むので、用土にはピートモスを使用する。カナダ産とサハリン産があり、多少質は落ちるが価格の安いサハリン産を使用している。それにモミガラを2～3割混ぜて使用するが、半々くらいまでにしようかなと思っている。

ピートモスは酸度無調整のものを購入しないと、石灰を混ぜて酸度の調整をしてあるものがあるので注意が必要である。ピートモスはキュービという単位で購入する。6キュービが1つのパッケージになっており、それは約1700で、ほぐすと3000になる。パッケージの大きさは95×48×38cmで約40kgの重さがある。pHは4.0前後のものである。

1学年6クラスで3学年分で、この6キュービパッケージが10個程度は必要であろう。

### 4. 苗の購入について

苗は地域にあるブルーベリーの栽培と製品の販売をしている社会福祉法人から購入している。卒業生も進路先としてお世話になっているし、地域連携の点からもちょうど良い購入先だった。

栽培実習費として、各学年で1000円を徴収している。苗代に500円程度、あとは鉢や肥料等に使っている。

### 5. 暑さ・ヒヨドリ対策

2010年の猛暑は本当に植物泣かせで、水やりも大変であったが、それ以上に若い1年生の苗には過酷な環

境であった。1年生とほとんど変わらない苗を植えた3年生の鉢置き場は木陰であったので、苗が守られかなり成長に差が生じたように思われる。夏には寒冷紗をかける」と説明してあるサイトもあり、あまりにも日当たりが良すぎる環境も避けたほうが良かったと思われる。

さらに、果実を食べにヒヨドリが来るので、今後は囲いを作り日よけの寒冷紗と鳥よけのネットを張る予定である。



(フェンスを利用しハウス用パイプを組んで囲いを作る予定。2年生の鉢を置いている所。ずっと奥が1年生。日当りは最高。)

### 6. 苗の自己調達も可能

苗は購入しているものの、ある程度の大きさに成長した木が学校にあれば、挿し木で苗を確保する事も可能である。



(3月中旬に挿し木)



(4月中旬の状態)



(6月中旬の状態)

このまま管理し、9月に鉢上げを行っても良いし、そのまま春まで育苗箱で育てる事も可能である。しかし、根が絡むこともある。

また2号ポットに1本ずつ挿しても後の管理が楽でよいかも知れないと考えている。

短期の栽培も良いが、息の長いブルーベリーの栽培にも是非挑戦して頂きたい。